

令和8年度(2026年度)札幌市個別支援計画事業者研修会 企画運営業務企画競争契約候補者選定指針

1 目的

この指針は、障がい福祉人材確保・定着サポート事業企画競争実施委員会設置要綱(平成29年6月9日保健福祉局長決裁。)第1条の規定に基づき、札幌市が実施する令和8年度(2026年度)札幌市個別支援計画事業者研修会企画運営業務を委託する契約候補者の選定に関する事項を定めるものとする。

2 選定手順

(1) 審査(書面)

提出された企画提案書等の書類のみの評価を行う。

(2) 契約候補者の選定

上記の評点に基づき、契約候補者を選定する。

3 評価方法

障がい福祉人材確保・定着サポート事業企画競争実施委員会(以下「実施委員会」という。)の委員により、本業務にかかる「提案説明書」、「仕様書」及び本指針に基づき、企画提案書等の内容を審査し、採点を行う。

(1) 評価基準

別紙「評価基準表」のとおりとする。

(2) 採点

1つの企画提案につき、実施委員会の各委員が、評価基準表の配点のとおり100点満点で採点し、各委員の採点の合計を評点とする。

なお、各項目の採点基準は下表のとおりとする。

| 採点基準 | 点数(20点満点の項目) | 点数(10点満点の項目) | 点数(5点満点の項目) |
|---------|--------------|--------------|-------------|
| 特に優れている | 20点 | 10点 | 5点 |
| 優れている | 16点 | 8点 | 4点 |
| 普通 | 12点 | 6点 | 3点 |
| やや不十分 | 8点 | 4点 | 2点 |
| 不十分 | 4点 | 2点 | 1点 |

(3) 最低基準点

評定の満点(100点×委員数)の60%を最低基準点とする。

4 契約候補者の選定について

(1) 契約候補者の選定

評点が最低基準点以上の者のうち、最も高い評点を得た者を契約候補者として選定する。

(2) 同点の場合

原則として評価基準表の項目「2 研修内容の評価」の合計点が最も高い者を、契約候補者として選定する。

なお、上記項目の合計点についても同点である場合には実施委員会で協議の上、契約候補者を選定する。

(3) 企画提案者が1者のみであった場合

評点が最低基準点以上であった場合には契約候補者として選定する。

令和8年度(2026年度)札幌市個別支援計画事業者研修会企画運営業務評価基準表

| 評価項目及び評価の観点 | | 配点 | | | | | | | | | | | |
|----------------------|---|--|-----|------|-------------|---|-------------|---|-----|------|------|---|-----|
| 1 業務理解度に対する評価 | ■業務の目的、条件および内容を的確に反映した提案内容となっているか。 | 10点 | | | | | | | | | | | |
| 2 研修内容の評価 | <ul style="list-style-type: none"> ■次の項目を満たした企画提案内容となっていること。 ○多くの参加者にとって参加しやすいプログラムとなっているか。 また、参加者に分かりやすいものとなっているか ○グループディスカッションやロールプレイング等体験的に知識や技能を修得するよう配慮されているか。 ○支援の質の向上、人材育成の観点で研修内容に独自性・独創性があるか。 ○研修会の参加定員やファシリテーターの人数等について仕様書に記載している内容を超えて提案されているか。 ○提案されている検討事例は研修目的に沿っており、魅力的であるか。 ○仕様書に基づき、下表の内容がそれぞれ盛り込まれているか。また内容は魅力的であるか。 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">コース</th><th style="text-align: center;">研修内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">基礎研修 1日目</td><td> オリエンテーション 本講義の目的や心構え(本人中心である必要性など) 個別支援計画の位置づけ 意思決定支援について アセスメント方法や考え方(社会モデルやストレングス中心の情報収集等) アセスメントの要約方法 本人の課題や期待を明確化 2日目に向けての要点整理 </td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">基礎研修 2日目</td><td> 1日目の振り返り アセスメントの要約と自己実現に向けての分析 個別支援計画の作成(デマンドとニーズを分析) 振り返り・まとめ 個別支援計画に関する研究事例や役立つ情報等の補足 </td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">コース</th><th style="text-align: center;">研修内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">応用研修</td><td> 基礎研修の振り返り 本講義の目的や心構え 困難事例の検討・演習(アセスメントの視点を広げる方法・理想と現実の情報整理や本人のアクションプランの検討方法など) 多角的・包括的アセスメント 地域連携やチーム支援の重要性について解説 </td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○仕様書に記載の範囲を超えて、本業務の目的に資する独自の提案や新たに追加すべき業務の想定などが示されており、有効な内容であるか。 | コース | 研修内容 | 基礎研修 1日目 | オリエンテーション 本講義の目的や心構え(本人中心である必要性など) 個別支援計画の位置づけ 意思決定支援について アセスメント方法や考え方(社会モデルやストレングス中心の情報収集等) アセスメントの要約方法 本人の課題や期待を明確化 2日目に向けての要点整理 | 基礎研修 2日目 | 1日目の振り返り アセスメントの要約と自己実現に向けての分析 個別支援計画の作成(デマンドとニーズを分析) 振り返り・まとめ 個別支援計画に関する研究事例や役立つ情報等の補足 | コース | 研修内容 | 応用研修 | 基礎研修の振り返り 本講義の目的や心構え 困難事例の検討・演習(アセスメントの視点を広げる方法・理想と現実の情報整理や本人のアクションプランの検討方法など) 多角的・包括的アセスメント 地域連携やチーム支援の重要性について解説 | 80点 |
| コース | 研修内容 | | | | | | | | | | | | |
| 基礎研修 1日目 | オリエンテーション 本講義の目的や心構え(本人中心である必要性など) 個別支援計画の位置づけ 意思決定支援について アセスメント方法や考え方(社会モデルやストレングス中心の情報収集等) アセスメントの要約方法 本人の課題や期待を明確化 2日目に向けての要点整理 | | | | | | | | | | | | |
| 基礎研修 2日目 | 1日目の振り返り アセスメントの要約と自己実現に向けての分析 個別支援計画の作成(デマンドとニーズを分析) 振り返り・まとめ 個別支援計画に関する研究事例や役立つ情報等の補足 | | | | | | | | | | | | |
| コース | 研修内容 | | | | | | | | | | | | |
| 応用研修 | 基礎研修の振り返り 本講義の目的や心構え 困難事例の検討・演習(アセスメントの視点を広げる方法・理想と現実の情報整理や本人のアクションプランの検討方法など) 多角的・包括的アセスメント 地域連携やチーム支援の重要性について解説 | | | | | | | | | | | | |
| 3 業務遂行能力の評価 | <ul style="list-style-type: none"> ■企画提案内容が次の項目を満たしていること。 ○類似業務の実績があること。 ○研修にふさわしい講師を選定していること。 ○多くの参加者に参加してもらうための広報活動等に工夫があること。 ○研修実施時期など事業全体のスケジュールに妥当性があること。 ○会場の確保等に妥当性があること。 ○事業を実施する上で十分な人員体制が確保されていること。 | 10点 | | | | | | | | | | | |
| 合計(委員1名の満点) | | 100点 | | | | | | | | | | | |